

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	西新井聖華保育園
施設所在地	足立区西新井本町2-4-24
法人名	社会福祉法人 流山中央福社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・積み木

<テーマの設定理由>

5歳児 積み木遊びに夢中になって遊ぶ姿が見られる。積み木の量を増やし、スケーラやチップを取り入れたことで更に積み木遊びが発展している為。

2. 活動スケジュール

13：30～15：00
遊び始めて30分後にスケーラ、ミニドール、動物、シフォン布を追加する。
14：30 作った作品を発表する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境】 保育室の椅子や机をはけ、広い空間を用意した。
【素材】 積み木、カプラ、カラー積み木、ジュエル積み木、スケーラ、ミニドール、動物、シフォン布

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・5歳児の保育室を使い全員で積み木遊びを行う。
用意した積み木や素材の種類について伝え、使い方や遊び方について全体で確認をしてから遊び始める。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・4.5名の小集団が多く、それぞれがテーマを持って作品を作り上げていた。積み木遊びが好きな子どもが先陣を切り、遊びを広げている。積み木遊びが苦手な子どもがいるが、保育士が積み方を見せたり他児の遊ぶ様子に興味を持つと、少しずつ遊びの輪に入っていく様子が見られた。
・女児2名は全く同じ形に積み木を並べ、カフェを作る。「テーブルと椅子も作ろう」等と意見を出し合いながら小道具を追加して楽しんでいた。カフェの形ができあがるとミニドールを持って来て、客と店員のやり取りをして遊ぶ。
・男児2名は国会議事堂を作ると言い、ニュースで見たという国会議事堂の形を思い出しながら積み木を積んでいた。
・男児4名は協力してタワーを作る。「太くないと倒れちゃうよ」と土台がしっかりしていなければ倒れてしまう事を想定した上



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・積み木遊びが得意な子どもが周囲のグループを回ってアドバイスをすることによって、遊びがさらに発展していった。
・積み木に組み合わせる素材を豊富に用意することで、子ども達がイメージした物を形として表現できる事を知った。遊び込めていた事で積み木が足りなくなる場面があった。
・保育室で行ったが、ホール等のもう少し広い場所でできるとさらに遊びが広がっていくので